

教科	国語科	学年	2年	時間数	5 / 週
使用教科書	新しい国語2(東京書籍)				
副教材	新国語の便覧(正進社) 国語の学習2(明治図書) 単元別漢字ノート(新学社) 役立つ文法(正進社) 整理と対策(明治図書)				
学習の目標					
<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。</p> <p>(2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。</p>					
評価基準					
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができた。		論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができた。		言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を身に付けた。	
評価の仕方	評価方法・基準 定期テストと、授業や学習課題への取り組みを中心に総合的に評価する。				

教科書	単元	各月における進捗予定												
		1学期				2学期				3学期				
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	「未来へ」 谷川俊太郎	●												
	「手紙の効用」 若松英輔	●												
1 言葉を感じる	「短歌を楽しむ／短歌五首」 道浦母都子	●												
	短歌のリズムで表現しよう		●											
	話し言葉と書き言葉		●											
	形の似た漢字		●											
2 感想を深める	「字のない葉書」 向田邦子			●										
	「辞書に描かれたもの」 澤西祐典			●										
	考えを比べながら聞こう			●										
	敬語								●					
	他教科で学ぶ漢字(1)				●									
3 伝え方を工夫する	「ハトはなぜ首を振って歩くのか」 藤田祐樹								●					
	郷土のよさを伝えよう				●									
	用言の活用		●											
	漢字の意味				●									
	「卒業ホームラン」 重松清									●				
4 説得力を高める	「黄金の扇風機」 田中真知									●				
	「サハラ砂漠の茶会」 千住博									●				
	根拠を吟味して書こう									●				
	説得力のある提案をしよう								●					
	助詞									●				
	同訓異字										●			
	「落葉松」 北原白秋										●			
5 伝統文化を味わう	枕草子		●											
	徒然草			●										
	平家物語								●					
	漢詩									●				
	依頼状やお礼状を書こう										●			
	助動詞										●			
	他教科で学ぶ漢字(2)										●			
6 描写を味わう	「走れメロス」 太宰治									●				
	人物を描写しよう									●				
	類義語・対義語										●			
	「鯉節——世界に誇る伝統食」 小泉武夫													●
7 効果的に表現する	「『正しい』言葉は信じられるか」 香西秀信											●		
	話し合いで問題を検討しよう											●		
	いきいきと描き出そう												●	
	同音異義語											●		
	「わたしが一番きれいだったとき」 茨木のり子									●				
	「坊っちゃん」 夏目漱石											●		